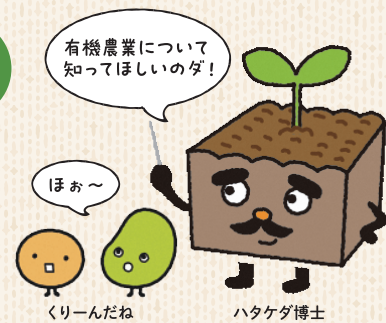


オーガニック(有機)について知ろう! 特別講座!



Q 有機農業って、なに?

A 化学肥料や化学農薬を原則使わないで、可能な限り環境に配慮した農業です。

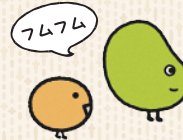
- ①化学肥料や化学農薬を原則、使用しない。
- ②遺伝子組換え技術を利用しない。

この2つを基本として、農業生産に由来する環境への負荷を出来る限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業です。(出典:有機農業の推進に関する法律(平成18年法律第112号))

Q 有機食品は、どうやって見分けるの?

A 有機JASマークが目印です。

国が定めた全国共通の生産基準をクリアした有機食品(農産物、畜産物、藻類、加工食品)には、「有機JASマーク」が付いています。「有機JASマーク」は、第三者機関が検査し、認証された事業者が使用することができます。



有機JASマーク



登録認定機関

有機JASマークは、太陽と雲と植物をイメージしたマークです。農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないで自然界の力で生産された食品を表現しています。

Q 「オーガニック」「有機」の表示には、どんなルールがあるの?

A 有機JASマークが付いた有機農産物や有機畜産物、有機藻類、有機加工食品でなければ、「有機○○」「有機栽培○○」「オーガニック○○」などの表記はできません。

有機JAS規格に定められたルールで生産され、有機JASマークが付されたものだけが「有機」や「オーガニック」と表示できます。生産・流通過程で有機JAS規格に合わない事態が生じた場合、有機JASマークや「有機」の表示を取り除かなければなりません。

※ただし、原材料に有機JASマークの付いたものを使用している加工食品は、それ自体にマークがなくても「有機○○使用」と表示できます。

紛らわしい表示はダメ!!

有機JASマークがない農産物に、紛らわしい表示をつけることは法律で禁止されています。お買物の際のチェックポイントです。

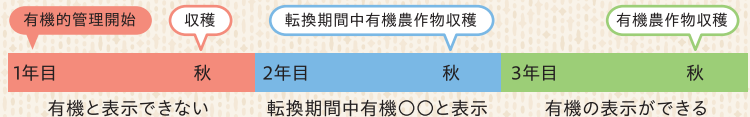


有機JASマークがないよ!

転換期間中有機農産物とは?

「転換期間中有機○○」と表示されているものは、田畑の有機的管理を行い、基準期間を満たすまでの転換期間中であることの認定を受けているものです。

■転換期間と有機期間のイメージ(一年生作物の場合)



Q 有機JASマークには、どんな基準があってどんな食品についての?

A 有機食品には、「有機農産物」「有機畜産物」「有機藻類」「有機加工食品」の4つがあり、それぞれ下記のような厳しい基準をクリアしています。農業に関係する3つを紹介します。



有機JAS規格の基準

有機農産物

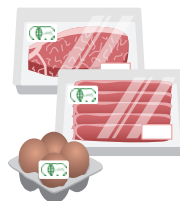
- 堆肥等で土作りを行い、播種・植付け前2年以上及び栽培中に原則として化学肥料や化学農薬を使用しない。

- 遺伝子組換え技術を使用しない。



有機畜産物

- 飼料は主に有機飼料を与える。
- 野外への放牧などストレスを与えずに飼育する。
- 抗生物質等を病気の予防目的で使用しない。
- 遺伝子組換え技術を使用しない。



有機加工食品

- 化学的に合成された添加物や薬剤の使用は極力避ける。
- 原材料は、水と食塩を除いて、95%以上が有機農産物・有機畜産物・有機藻類・有機加工食品である。
- 薬剤により汚染されないよう管理された工場で製造する。
- 遺伝子組換え技術を使用しない。

